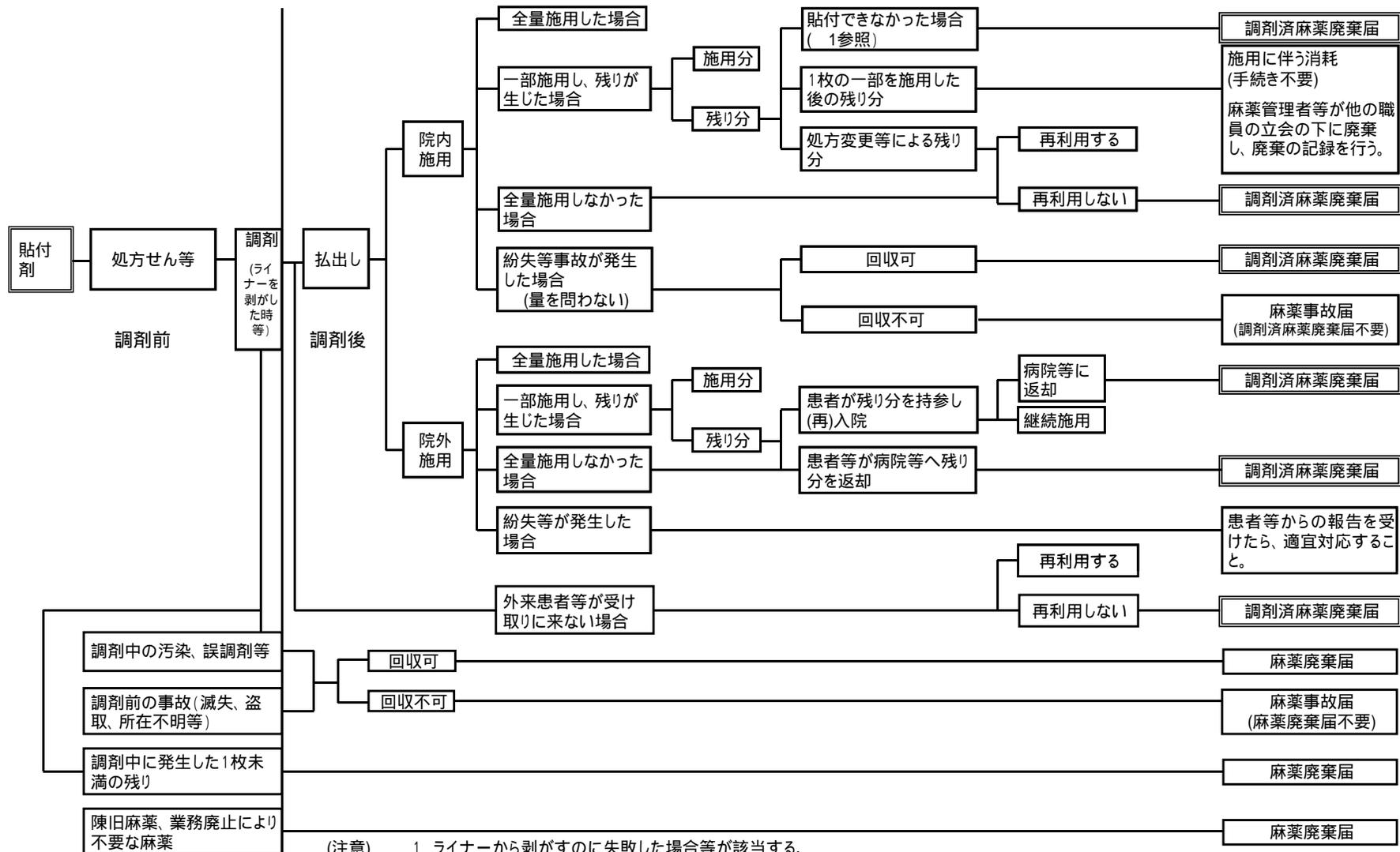


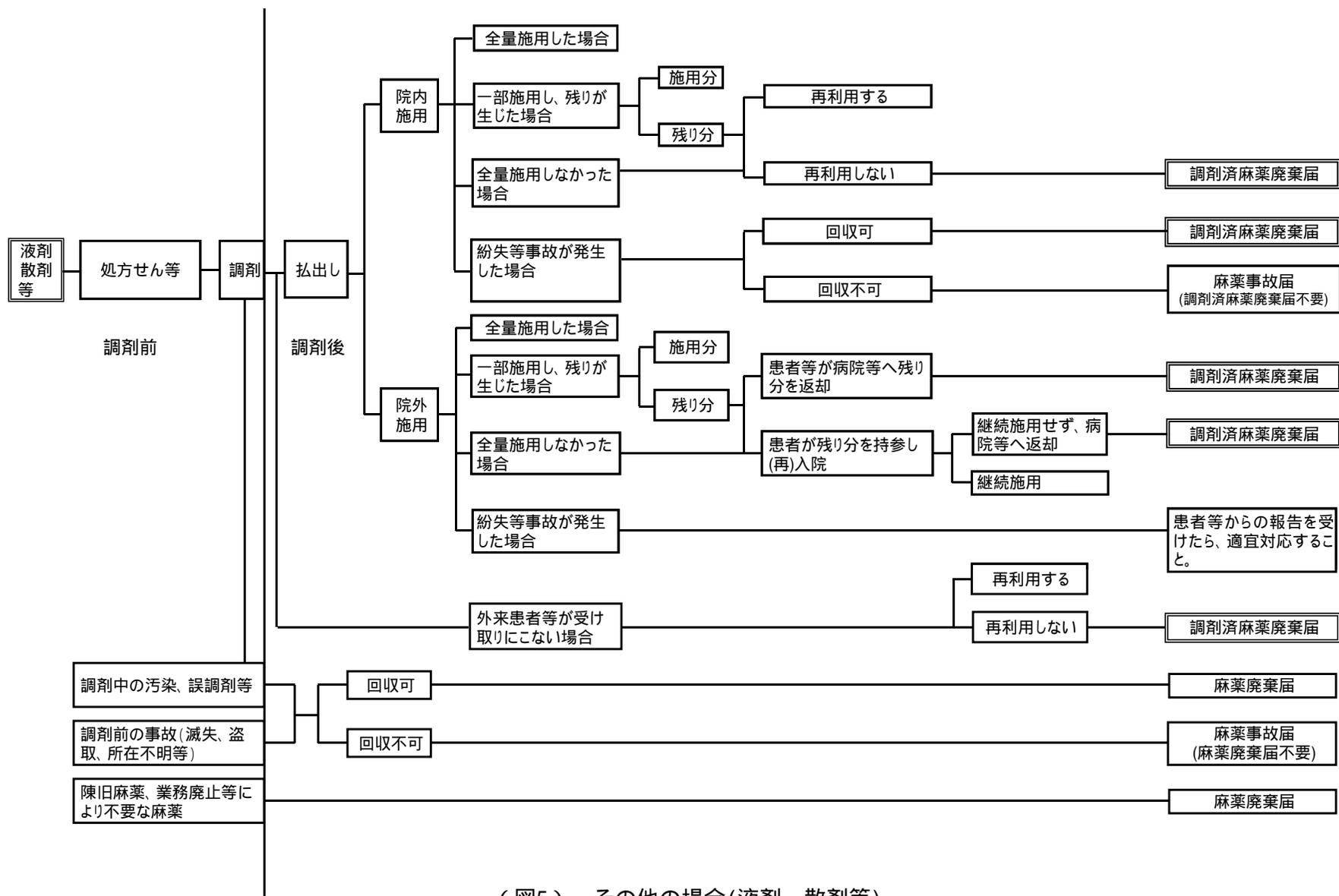
(図3) 院外施用の注射剤の場合(連続注入器等)



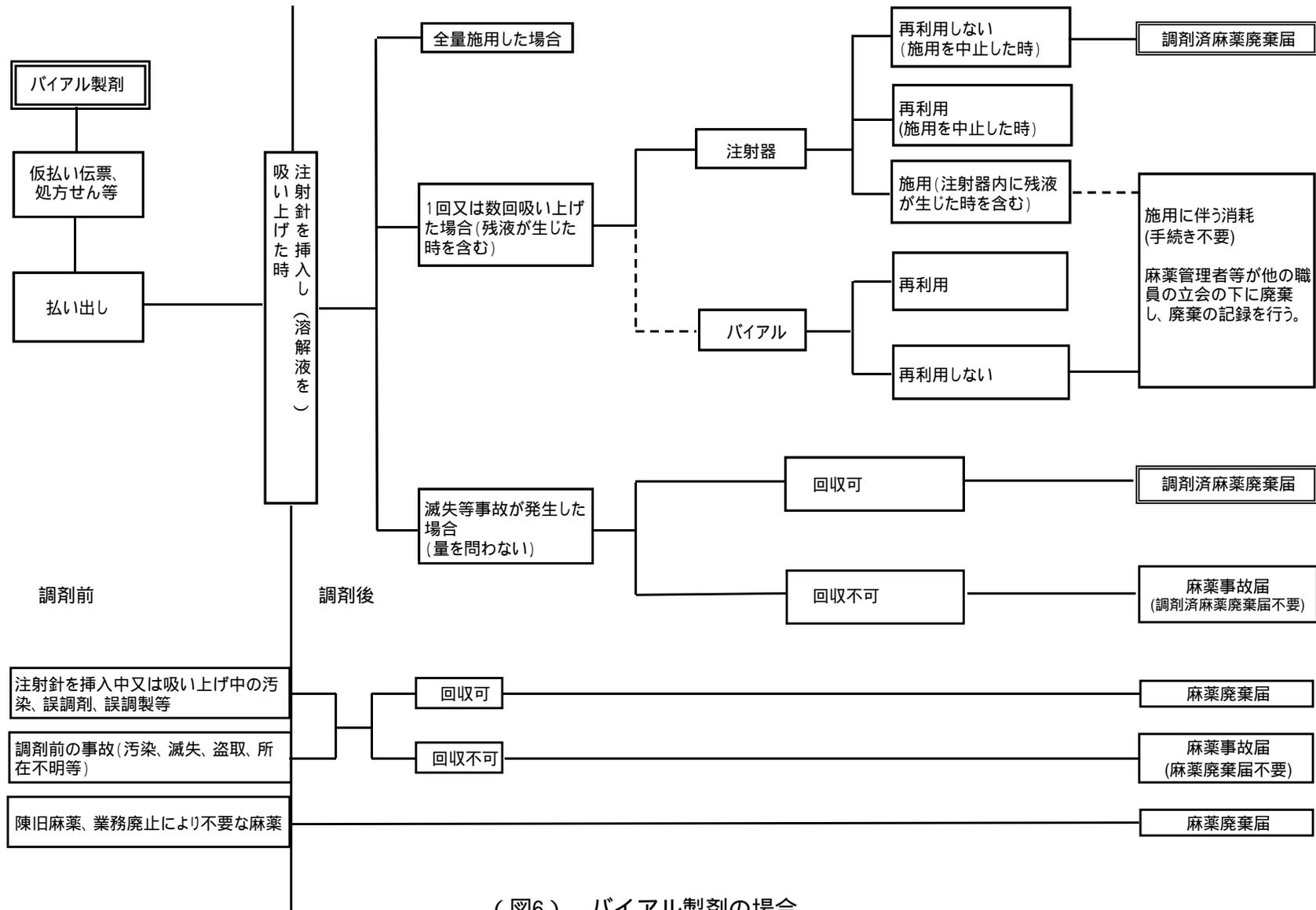
(注意)

- 1 ライナーから剥がすのに失敗した場合等が該当する。
- 2 施用途中で剥離した場合や途中で施用を中止した場合は、施用済みとして処理すること。
- 3 院内で施用済みの貼付剤(上記 2の場合も含む。)については、麻薬管理者が全て回収し適切に廃棄すること。

(図4) 貼付剤の場合



(図5) その他の場合(液剤、散剤等)



(図6) バイアル製剤の場合